

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和03年03月08日

計画の名称	野田市における浸水対策公共下水道の推進（防災・安全）															
計画の期間	平成27年度 ～ 平成31年度（5年間）												重点配分対象の該当			
交付対象	野田市															
計画の目標	浸水地区の解消を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、水環境や生活環境を改善する。															
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）		589	A	589	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）			0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(H27当初)	(H29末)	(H31末)
1	下水道による都市浸水対策達成率を418.7ha 10.0%（H27）から425.9ha 10.2%（H31）に増加させる。			
	下水道による都市浸水対策達成率	10%	11%	11%
	浸水対策完了済み面積（ha）／浸水対策を実施すべき面積（ha）			
2	下水道施設のストックマネジメント計画を策定する。			
	下水道施設のストックマネジメント計画策定率	0%	50%	100%
	ストックマネジメント計画策定済み計画数（計画）／ストックマネジメント計画を策定すべき計画数（計画）			
3	ストックマネジメント計画における管渠の点検調査修繕を行い、計画的かつ効率的な施設維持を行う。			
	管渠のストックマネジメント点検実施率	0%	0%	17%
	ストックマネジメント点検延長（km）／点検必要延長（61km）			
4	ストックマネジメント計画における施設の点検調査修繕を行い、計画的かつ効率的な施設維持を行う。			
	施設のストックマネジメント点検実施率	0%	0%	2%
	ストックマネジメント点検施設数（施設）／点検必要施設（22施設）			
5	下水道総合地震対策計画を策定する。			
	下水道総合地震対策計画策定率	0%	0%	100%
	下水道総合地震対策計画策定済み計画数（計画）／下水道総合地震対策計画を策定すべき計画数（計画）			

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－
当初1つであった整備計画を切り分けたため、計画を跨る成果目標については、事後評価等を関連する整備計画と一体的に実施する。												

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	野田市	直接	野田市	管渠（ 雨水）	新設	南部 4 号幹線等整備（浸 水対策）	L＝0.7km Φ800～1350mm	野田市	■	■	■			491		－
	A07-002	下水道	一般	野田市	直接	野田市	管渠（ 雨水）	改築	ストックマネジメント計 画策定	調査・計画策定（管渠・ポン プ場）	野田市			■	■		40		－
		ストックマネジメント																	
	A07-003	下水道	一般	野田市	直接	野田市	管渠（ 污水）	改築	ストックマネジメント計 画における管渠の点検調 査修繕	点検調査修繕（管渠） 61km	野田市					■	38		－
		ストックマネジメント																	
	A07-004	下水道	一般	野田市	直接	野田市	ポンプ 場	改築	ストックマネジメント計 画における施設の点検調 査修繕	点検調査修繕（施設） 22施 設	野田市					■	7		－
		ストックマネジメント																	
	A07-005	下水道	一般	野田市	直接	野田市	ポンプ 場	改築	下水道総合地震対策計画 策定	計画策定（管渠・ポンプ）	野田市				■	■	13		－
		総合地震対策																	
										小計						589			

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
											合計						589		

事 後 評 価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

事後評価の実施時期

庁内の公共下水道事業担当部署により、事業実施状況・指標の達成状況の確認および評価を行う。

事業終了後

公表の方法

野田市ホームページにて掲載

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

- ・野田市公共下水道ストックマネジメント計画の策定を完成させた。
- ・ストックマネジメント計画に基づき管渠の点検・調査を17kmを完了させた。
- ・ストックマネジメント計画に基づき施設の電気設備修繕実施設計業務委託を2箇所実施した。
- ・野田市下水道総合地震対策計画を完成させた。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

○特記事項（今後の方針等）

- ・今後も引き続き、ストックマネジメント計画及び下水道総合地震対策に基づき、計画的な改築工事を進めていく。

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	下水道による都市浸水を 418.7ha（10%）（H27）から 425.9ha（10.2%）（H31）に増進させる。		
	最 終 目標値	11%	
	最 終 実績値	11%	
2	下水道施設のストックマネジメント計画を策定する。		
	最 終 目標値	100%	
	最 終 実績値	100%	
3	ストックマネジメント計画における管渠の点検調査修繕を行い、計画的かつ効率的な施設維持を行う。		
	最 終 目標値	17%	
	最 終 実績値	17%	
4	ストックマネジメント計画における施設の点検調査修繕を行い、計画的かつ効率的な施設維持を行う。		
	最 終 目標値	2%	
	最 終 実績値	2%	
5	下水道総合地震対策計画を策定する。		
	最 終 目標値	100%	
	最 終 実績値	100%	